

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		-				
科目名	建築意匠演習C	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1.2年次	選択	33002001		
担当教員	石黒由紀	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	月曜日	3時限	
授業の教育目的・目標	<p>建築家やデザイナーなど設計分野にすすむために必要とされる理論構築、デザインの実践方法、高度に専門的な知識、などを身につける。</p> <p>具体的な設計行為を通じて、社会で役立つ、より良い提案をつくりあげていく専門性のある対話や議論、必要十分でわかりやすいプレゼンテーションの方法、を学習する。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	<p>a. 自ら問題を発見し、自ら調べ、自ら感上げて問題解決する能力を持つ。</p> <p>i. 建築の地域社会との関わりや、建築と環境の関係について考える。</p> <p>j. 建築家が備えるべき社会的責任を理解する。</p>					
キーワード	設計、計画、環境、文化、社会、パブリック、開かれた建築、新しい建築、コミュニケーション、コンテキスト、尺度、領域、構成					
授業の概要	<p>従来の図書館、小学校、市場(商業施設)のありかたを見直し、現代のまちづくりに活かされる、開かれた建築を計画する。敷地は前橋市内を想定し、まちに開かれた施設、前橋らしい公共性＝パブリックを意識した建築を設計することで、現在のまちの問題点と可能性をうきぼりにしていく。地方の中核都市の活気あるまちづくりのさきがけの例となるよう、意識を高く持って、既成概念にとらわれない新しい建築を目指す。</p>					
授業の計画	<p>第1回： ガイダンス</p> <p>第2回： 優れた図書館の事例分析(ゾーニング、動線)</p> <p>第3回： 公共性、パブリック</p> <p>第4回： 構成(部分と全体)</p> <p>第5回： 課題1提出</p> <p>第6回： 優れた小学校の事例分析(ゾーニング、動線)</p> <p>第7回： ヴォリューム</p> <p>第8回： 開かれた建築</p> <p>第9回： 領域(内部/外部/半外部)</p> <p>第10回： 課題2提出、</p> <p>第11回： 市場の事例分析(ゾーニング、動線)</p> <p>第12回： 群造形、関係性</p> <p>第13回： ランドスケープ</p> <p>第14回： 環境</p> <p>第15回： 課題3提出、総括およびまとめ</p>					
受講条件・関連科目	<p>建築意匠特論Cと合せて受講すること。</p> <p>学部での設計科目、建築計画・意匠分野の全ての科目、及び卒業設計の履修。また、建築構造計画など横断的な専門科目の履修。建築設計、デザインに対する情熱をもっていること。</p>					
授業方法	<p>授業は受講生が準備してきた案をもとに、発表や対話形式ですすめられるため、参考資料の蒐集、エスキススケッチ、図面、模型の作成は主にホームワークとなる。課題ごとに定められた期限までに必要な作業を進め、課題毎に定められた提出物をすべて期限までに完成させて提出するスケジュール管理能力が要求される。</p>					
テキスト・参考書	<p>参考書: 建築構成学 建築デザインの方法(坂本一成ほか著/実教出版)他、その都度、紹介する。</p> <p>「Vecterworks (ベクターワークス)」を活用する。</p>					
成績評価	<p>・期末試験(0%) ・レポート(0%) ・その他(設計演習、課題、プレゼンテーション含む)(100%)</p>					
履修上の注意	<p>自ら構想する建築家、デザイナーを目指し、高いモチベーションをもって課題にのぞむこと。</p> <p>アイデアコンペ、実施コンペなどに積極的に参加し、時代の感性を共有すること</p>					